

ID ^{注1)}	031109	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白山山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）/ニツ森サブエリアモニタリングサイトのブナ林動態基礎調査						発行年月/報告年月	
							2004年	2月
							資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所	委託機関	内藤俊彦(静岡県在住)
------	----------------------	------	-------------

調査開始年	2000年	9月	調査期間	2000年	9月	～	2000年	10月
-------	-------	----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 ^{注2)}	—	調査時期 ^{注2)}	秋
---------------------	---	---------------------	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	IIA	大区分 ^{注2)}	1	小区分 ^{注2)}	(1)
----------	------------	-------------------	-----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 ^{注3)}	目的・調査手法
------------------------	---------

核心地域
 緩衝地域
 周辺地域
 GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■調査目的
 白山山地ニツ森サブエリアモニタリングサイトを設置し、この地の中心的植生であるブナ林の動態を継続的に調査研究するため、今回は風衝地のブナ林について調査区を設定した。
 調査区の位置はニツ森(1086.2m)の頂上から西に下った登山道の南側である。斜面は西向き斜面で、傾斜角度は30度であった。調査面積は100x100mとした。

■調査方法
 調査は2000年9月5・6日および10月17～22日の8日間おこなった。ニツ森登山道の900m附近からおよそ30m林内に入った西斜面に基点を置き、100m×100m(標高約880～930m)の方形区を設置した。方形区内にある胸高直径4cm以上の、すべての樹木についてそれぞれの樹木の樹種・位置・樹高・下枝高・胸高直径・樹冠の広がり(上下左右四方向)について同定および測定し、調査票に記録した。樹高・下枝高は目測し、樹木の位置・樹冠の広がりは巻尺にて実測し、胸高直径は直径巻き尺にて実測した。

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

方形区内に出現した胸高直径4cm以上の樹木は、ブナ、ダケカンバ、イタヤカエデ、コバノトネリコ、ナナカマド、オオカメノキ、ミネカエデ、ノリウツギ、ミズキの11種、566本(枯木も含む)であった。
 ブナは胸高直径では5～10cm個体が最も多く、後継樹が繁殖していることが認められ、ブナ林として自然更新は比較的うまくいっていると考えられる。また、ダケカンバは胸高直径の分布が太いほうに集中していることから更新は阻害されているものと考えられる。海拔高度ではブナ林帯であることから何らかの環境圧によってブナの生育がなく、ダケカンバの進入をもたらしたが、次第にダケカンバが消滅しブナ林に移行するものと考えられる。
 本調査では、ブナ及びダケカンバが優占しており、標高が1,000m近いことから、ブナ帯からダケカンバ帯への移行地帯であると考えられる。内藤(1985)は「ニツ森のダケカンバ-チシマザサ群落ではブナ林要素の植物の方が亜高山性植物より多くみられる。これは山頂の高さが約1,100mであり、いわゆる亜高山帯ではなく、山頂における植物分布の寸詰まり現象であろうと思われる。ダケカンバ-チシマザサ群落は、相観的にはダケカンバ林であるが、森林の構成種からみるとブナ林であり、高木層のみがダケカンバに置き換わったものであろう。」と言及している。本調査地においても種組成並びに階層構造でほぼ同じ結果になったことから、本調査地も高木層がダケカンバに置き換わったブナ-チシマザサ群落であろうと考えられる。調査地内の森林の更新状態は、ギャップの占める面積が15.3%と平均的であることから、樹木の自然更新は比較的うまくいっていると考えられる。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本(データ)の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備 考

表1. ニツ森サブエリアモニタリングサイトにおける樹木別本数

樹種名	本数	株立数	枯死数
ブナ	203	24	6
ダケカンバ	88	1	5
ハウチワカエデ	39	3	0
シナノキ	31	7	0
イタヤカエデ	28	0	1
コバノトネリコ	28	6	0
ナナカマド	6	4	0
オオカメノキ	5	0	0
ミネカエデ	4	1	0
ノリウツギ	2	0	0
ミズキ	1	0	0
合計	435	46	12

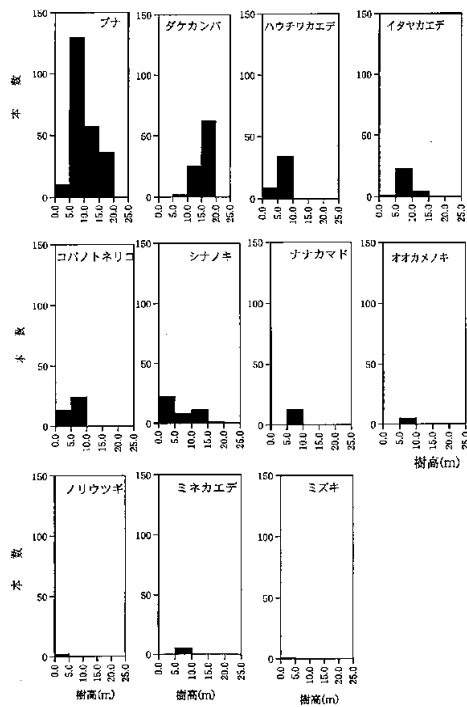


図3. 世界遺産白神山地ニツ森モニタリングサイトの森林構成種の樹高階（平成12年10月調べ）